

### 持経宿・平治宿の巡回整備と迎春準備

◇実施日 12月12日(日) 晴

◇参加者

持経宿班；沖崎吉信、児嶋道夫、濱野兼吉、大江加予子・徳子  
平治宿班；梶野照雄、岩本信行、中前偉、志岐敬、山本直子  
10名

ここ数年、迎春準備の御供品や飾り物などを調達してきたので要領が判ってきた。そのため事前準備は順調に進んだが、今回は迎春準備以外に薪材を大量に運ぶことになった。



本日の作業説明

千年松のしめ縄交換

お堂の清掃

湯川邸の新築で出た端材が、土のう袋で15袋余りあり、小屋迄

車で運ぶことが出来る持経宿の薪として使うことにした。

児嶋さんにトラックを出して頂き、3日前に積込んで用意した。

10名の皆さんの参加申し込みがあり、人数も確保できた。

直近の白谷林道通行情報が無く、心配を胸に当日午前9時前、白谷林道ゲート前に全員が集合。児嶋トラックの助手席に岩本さんが乗り込み、沖崎車、梶野車が続く。持経宿までの途中、岩本さんが3回ほど車を降りて落石を除去したが、一人で除去できるほどの少量だった。一番心配な8km前後の水流で荒れた場所も前回通過時と変わらず、予定通り50分で持経宿に着いた。

早速全員でトラックの薪材や御供品などを運び、各自のザックも小屋前のテーブルに置いて、持経宿、平治宿それぞれの荷物を確認した。倉庫から長ハシゴも出して、準備は整った。

#### 持経宿班

5人で大しめ縄や御供品を持って、千年松に向かう。

大江さん2人がお堂の清掃に取り掛かり、男3人で千年松しめ縄の取替を行う。児嶋さんがハシゴに登り、沖崎、濱野が下でサポート。

皆慣れたもので、15分足らずで取替は完了した。この太くて長い大しめ縄は、生熊さんが毎年準備してくださっている。いつものこととは言え、手間がかかっているに違いない。

しめ縄の交換を終えて祠の設置を行う。この祠は児嶋さんが一日かけて作られた力作で、当初は行仙宿補給路の川島前代表急逝現場に置くつもりだったが、大きくて立派なので、設置に当たって山主さんへ届け出や許可が必要になるかもしれないと考え、持経千年松のお堂下に置くことにした。

お堂下の清水さん横を整地してスペースを確保、祠を真つすぐ入れてみると高さも幅もピッタリ収まった。川島さん、山川さんの戒名を書いた木札を奉納させて頂いた。



お堂下に祠

持経宿の注連飾り

大江さん親子もお堂を丁寧な清掃されて、午前11時過ぎに持経宿に戻った。持経宿でも大江さんお二人でお堂を掃除される。

昼食を挟み、児嶋さんは朝トラックから降ろしたマキ材を小屋に運び、電気の配線チェック、ストーブの灰取り、来春改装予定の流し場の採寸などに忙しい。濱野君も小屋周りの整理や不用品の落ち葉掃除に悪戦苦闘。沖崎は小屋内の整理や不用品の選別など、休む暇がない。持ち帰る不用品を車に運ぶ途中でお堂を覗くと、大江さんは祭壇の上に正座して拭き掃除に専念していた。午後2時には平治宿班も戻るだろうと思っていたが、まだ帰らないので3人で水場の点検に向かった。この時期としてはよく流れていた。水場から戻るで梶野君が水場方向に降りてきた。

平治宿班も午後2時半過ぎに全員戻ってきて、小屋、奥駈道、水場に異常は無いとの報告を受けた。  
(記；沖崎)

### 平治宿班

小屋の照明を点けないとトイレの照明が点灯しない配線だったので、トイレは単独で点灯するように繋ぎ変えようと思い、コードや工具を持ってきた。ちょうど児嶋さんが持経宿に残るようなので、渡りに船と、配線の変更を児嶋さんをお願いして平治宿に向かった。



ハシゴを運ぶ

平治宿に到着

小屋内の清掃

志岐さんと山本さんは杭を数本ザックに、岩本さんは杭10本の束を背負子につけて、私は児嶋さんから預かったシートを背負子で運ぶ。長ハシゴは山本さんと私が担いで千年桧まで運んだ。

気温はさほど低くなく、日差しもあるので歩きやすい。2回軽く休んで平治宿に到着。山本さんと中前さんに小屋の作業をお任せして、3人で水場に降りる。新しく作った迂回路はまったく異常なしだが、前後の階段には杭が腐って用をなしていない箇所が複数あり、部分

改修が必要だ。



大量に積もった落葉



底浚え



ドラム缶を空に



東側の雨水槽も



平治宿の注連飾り



水場はよく流れていたが、蓋のグレーチングに大量の落ち葉が積もり、取り除くのに少々時間がかかった。水を汲み出して底浚えず

る。グレーチングのおかげで、石は小さなものばかりだが、底に溜まった泥が多くて、鍋を動かす度に泥が舞い上がり、底が見えていた水槽は泥水と化した。

5分ほどで底浚えは完了、グレーチングが簡単に取り外せないのも、蓋の掃除に時間がかかる。すぐに取り外すことが出来たら、ひっくり返して水をかけることが出来そうなので、取り付け方を再考したい。

小屋に戻って昼食を摂る。食後、トイレ横と小屋東の雨水槽をひっくり返して石を置く。小屋内のポリタンクの水抜きを済ませ、志納金を回収した。小屋前で写真を撮ってから持経宿に向かった。岩本さんと私が持経宿に先着した。後続3人の到着は少し遅れそうなので、水場の確認に向かった。すぐに沖崎さん等と出会う。



持経宿の水場



樋の掃除



本日の参加者

水場の沢は流れが複数あるが、水場ホースの先端から流れている水は総水量と釣り合いが取れていない。黒いホースの接続部を外して

みると、大量の泥が水と一緒に出てきた。取水口の掃除も重要だが、この接続部も同時に掃除する必要がある。

持経宿に戻って暖かいコーヒード休憩、大江さんから雨樋のつまりを指摘される。岩本さんが見てくださったが、樋に網が被せてあるので、簡単に掃除ができない。十分に時間があるときに網を外しながら掃除するしかないだろう。

(記・梶野)

## 行動タイム

白谷林道ゲート 09：03→09：51 持経宿 10：14→11：25 平治宿 13：20→14：12 持経宿 14：50→15：35 白谷林道ゲート